

30周年記念特大号②

大特集 心磨く旅 奈良へ

特別付録

北斎スケジュール手帳

サライ



大特集

心磨く旅 奈良へ

国宝・重文37軀 古仏巡礼

朝拝・勤行 早起きの徳

としまみ奈良散策地図

特別付録

北斎 2020年版 スケジュール手帳



表紙と見返しは「神奈川沖浪裏」



円成寺・大日如来坐像



特集
未体験の味わいから、リラックス効果まで
あんこ再発見



別冊付録 | 口福カタログ
サライのお取り寄せ

2019年 11月号

特別価格890円

2019年10月10日発行・発売 毎月10日発行・発売 特別付録付録651号 1989年11月8日発行・発売 特別付録付録651号

NIPPONIA HOTEL 奈良 ならまち

●奈良市西城戸町

7:30 朝食
営業開始



↑朝食の一例。中央は柚子酒漬けのスズキの焼き物、原木椎茸入りの卵焼き、香の物。手前は吉野産青大豆味噌の味噌汁。小鉢は左から宇陀金ごぼうと筒井れんこんのきんぴら、黒胡麻のおぼろ豆腐、ひじきなど。

築100余年の酒蔵を改修、朝の馳走と静謐が迎える

1室2名様 宿泊券プレゼント※

1泊2日、朝食付き(日程により部屋のタイプが異なります)



↑神の使いとされる奈良の鹿は、国指定の天然記念物。朝を中心に、宿にやって来ることも多い。



↑民家が立ち並ぶ細い路地にひっそりと立つ、まるで隠れ家のような宿。奈良公園や世界遺産の興福寺が徒歩圏内という便利な立地。●NIPPONIA HOTEL 奈良 ならまち 奈良市西城戸町4 ☎0120・210・289 (VMG総合窓口) 1泊2食付きひとり3万4000円〜 8室。近鉄奈良駅から徒歩約8分 地図A1 区B2

日本での清酒発祥の地と伝わる奈良。なかでも「ならまち」は平城京の外京として栄え、春日大社の水脈を利用した酒蔵が軒を連ねた。そのひとつ、明治4年(1871)に創業した奈良豊澤酒造の酒蔵を改修したのが、この宿だ。大正ガラスや往時の欄間を配した館内は、大和国の伝統的な古民家の風情があり、窓格子には、中

→客室「KINOE」。10畳間とツインベッドの洋間がある。1泊2食付きひとり3万8000円〜。床の間を設えた日本家屋らしい佇まい。檜風呂付き。



←客室「KANOTO」の廊下。中庭に面し、庭に向き合うように設けた座禅コーナーがあり、ひとり客に好評という。



←朝食場所の「レストラン ルアン」は、酒蔵時代は土間だった。12人掛けのカウンターテーブルには、吉野杉の一枚板を使用。

←客室には専用の布に包んだ酒粕があり、湯船のなかで揉むと、乳白色の酒粕風呂になる。



国の三国時代、蜀から法隆寺に伝わった織物「蜀江錦」を模したと考えられる文様も見られる。「客室はベッドルームが中心ですが、酒蔵らしい高い天井に、むき出しの梁を巡らせた部屋や、漆喰扉や茶室付きの部屋などがあり、往時の趣を極力残しています」と、広報の柳澤亜利沙さんは話す。また、仕込み水を汲んだ井戸水を調理や風呂に利用したり、酒粕風呂を楽しめたり、酒蔵を随所に感じられる。夕食のフランス料理も日本酒と合わせて愉しめる。

創意に長けた朝膳と安穩を

吹き抜けのダイニングで宿泊者のみが味わえる和朝食は、宇陀金ごぼうや筒井れんこんなどの大和伝統野菜、十津川産の原木椎茸ほか奈良の旬の味覚が供される。魚を吉野杉の皮に包み、香りをまとうせるなどの演出も心嬉しい。「客室には時計やテレビがないので、ゆったりとした気分で朝の清々しい空気を満喫してください。中庭に隣接した客室では、縁側で座禅をする方もいます。敷地内に野生の鹿が訪れ、心を和ませてくれることもあります(柳澤さん) 食後は、この宿ならではの静寂を十分に堪能したい。